

かていがくしゅうぱりんと おんがく1ねん

どんな うたが あるかな


がつ にち なまえ

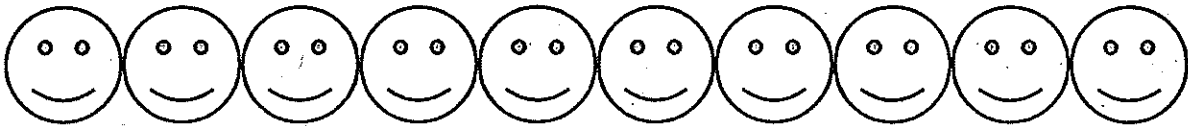
♪ きょうかしょの 2・3ぺえじを みましょう。

1. えの なかに うたっている かえるが います。
みつけたら の なかに ○ を つけましょう。



2. かえるの ほかにも みつけたものを の なかに かきましよう。

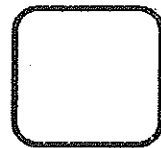
3. みつけたものの なかで している うたを うたいましよう。みつけた
うたを おうちのひとに きいてもらいましよう。うたった きよくの かずだ
け  に いろを めりましよう。



うたうときに ちょうせん しよう!

- みぶりを つけて うたおう。
- うたに あわせて あるこう。
- てを うちながら うたおう。
- はやく あるきながら うたおう。
- ゆっくり あるきながら うたおう。

♪ ちょうせんすることが でき
たら に○をつけよう。



※ うたうときには、ひとがいないほうをむいたり かんきをしたりして、きをつけてうたいましよう。

かていがくしゅう ぷりんと すこう 1ねん

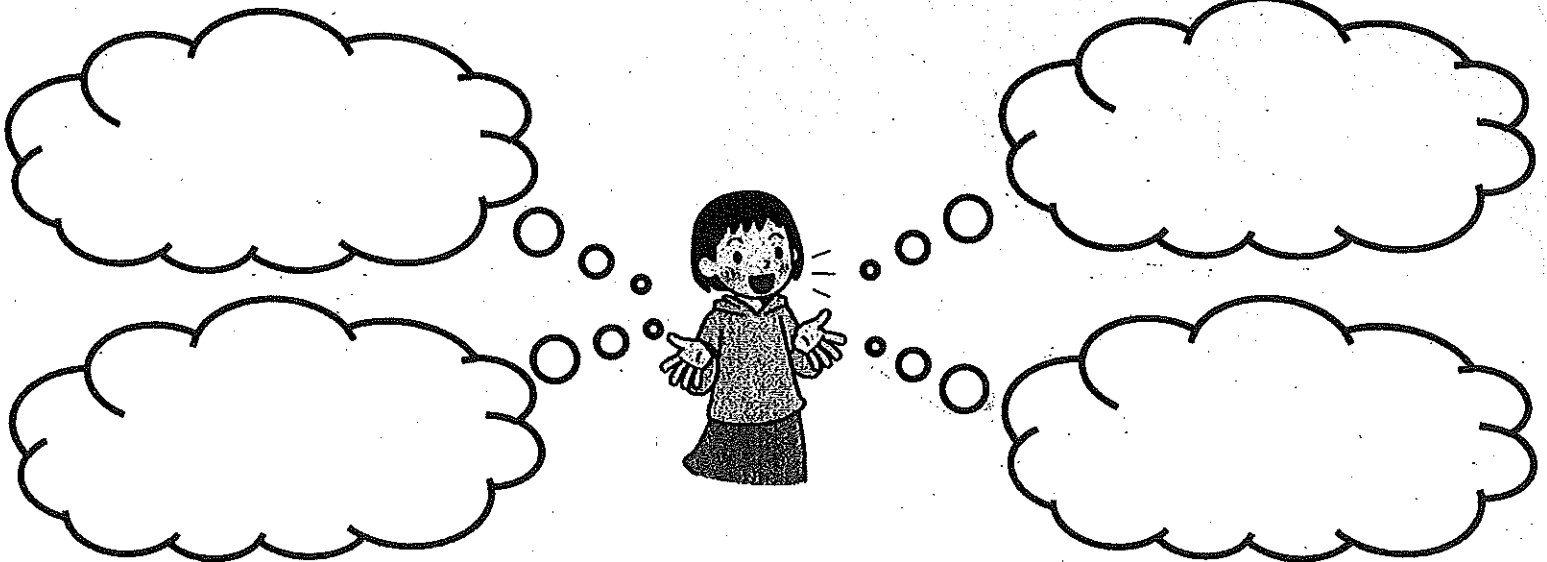
なまえ

すきな かたちや いろ なあに

☆ きょうかしよの 4から6ぺえじめを ひらきましょう。

☆ どんな かたちや いろが あるかな? みつけた ことを おしえてね。
(おうちの ひとに おはなし しましょう。)

まるまる した かたちは... ぐるぐる した かたちは...



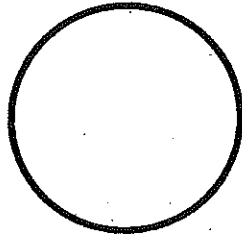
あかっぽい ものは...

あおっぽい ものは...

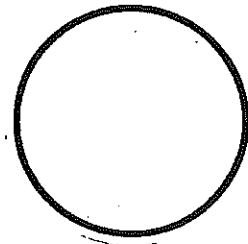
☆ つぎの ものは どの いろの ぱすと にている いろかな?

○の なかを ぱすで やさしく ぬりましょう。

ばなな



たこ



がくしゅうぱりんと たいいく 1ねん

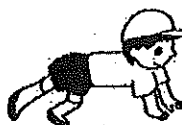
()くみ なまえ()

★ きをつけること

- ・ うんどうを するまえに まわりに ものがないかを みましよう
- ・ じゅんぴうんどうをしてからはじめ きゅうけいをしながら やりましよう
- ・ おうちのひとや ちかくにすんでいるひと の めいわく にならないようにし ましよう

☆つぎの うんどうを 5かいずつ しましよう。

○いぬあるき



まえに うしろに

○かにあるき



みぎに ひだりに

○はいはい



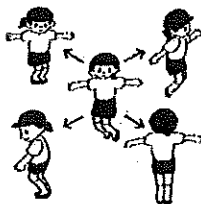
まえに うしろに みぎに ひだりに

○かたあしまわり



みぎあしで
ひだりあしで
みぎまわり
ひだりまわり

○まえ うしろ みぎ ひだり とび



たかく とんだり
とおくに とんだり
かたあしで とんだり
りょうあしで とんだり

○きゅっち ※ほーるをつかう (まるめたかみでもよい)
(うえにあげて) (はくしゅして) (まわって)



だんだんたかく



なんかいたたけるかな



なんかいまわれるかな

(うごいて)



すこしずつとおくへ

(まっとの かわりになる ものが あれば そのうえで やりましよう)

○ゆりかご



からだをまるめて
ゆーら ゆーら ゆーら

○まるたころがり



からだをまっすぐにして
ぴーん ころころころ

○かえるのあしうち

このあたりを
みよう



こしとあしをあげる
あしを パン パン

うんどうをしたひ

がつ	にち	がつ	にち	がつ	にち
がつ	にち	がつ	にち	がつ	にち

しょう1 どうとく

「きもちの よい せいかつ」

なまえ ()

○ どうとくのきょうかしの 6 ページと 7 ページの え をみましよう。

おてつだいを
していたを
あおいを
ぬりましよう

じぶんで からだを
あらいことが
できたら
あおいを
ぬりましよう。

はやねできたら
あおいを
ぬりましよう。

はやおきできたら
あおいをぬりましよう。

あさごはんを たべていたら
あおいをぬりましよう。

「がっこうにいく え」をみて
あぶないとおもったことをみつけたら あかいを
ぬりましよう。

はみがきをしていたら
あおいをぬりましよう。